



【韓国】 総合指数は週間で1.5%高と4週続伸、今週は米FOMC議事録に注目

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で1.5%高と4週続伸。週前半は前週半ば以降に上昇した流れを引き継ぎ、堅調に推移した。7月の米雇用統計が強い内容だったことを受けて米長期金利が上昇し、ハイテク株が下げた一方、金融株などが相場を支えた。10日は米物価統計の発表を前に利益確定売りが優勢となり、前日に回復した節目の2500ポイントを割り込んだ。海外勢や年金基金の売りが目立った。11日は1.7%高と大幅に反発し、約3週間ぶり高値を更新。米CPI伸び率の予想下振れを受けてFRBによる利上げ加速の観測が後退し、半導体株を中心に買いが入った。12日は3連休を前の手控えムードが広がる中、小幅高で終えた。今週は2500ポイント付近で値固めか。17日公表の米FOMC議事録に注目。国内では貿易統計が発表される予定。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS指数は週間で4.1%高と大幅に4週ぶり反発、今週はもみ合いか

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は4.1%高と大幅に4週ぶりに反発。友好国の非居住者の取引再開の延期が好感されたほか、原油高を受けたエネルギー株の上昇も指数を支えた。週明け8日が前週末比1.0%高、9日が3.0%高と大幅に続伸。モスクワ証券取引所が、前週に友好国の非居住者の取引再開を延期すると発表し、好感された。配当支払いのための株主総会を開催するタトネフチの大幅高も指数を押し上げた。原油高を背景にしたエネルギー株の上昇も重なった。個別では産金のポリメタルが27.7%高、金融のTCSグループが20.0%高と急騰したほか、エネルギーのタトネフチ優先株が11.9%高。タトネフチ普通株が9.2%、ルクオイルが7.1%、ノバテックが6.3%上昇するなどエネルギー株が軒並み大幅高となった。今週はもみ合いか。

▼指数チャート



【ベトナム】 ベトナム指数は週間で0.8%高と5週続伸、今週は高値もみ合いか

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で0.8%高と5週続伸。先高観を背景にエネルギー、金融、鉄鋼株などが買われ、指数は6月10日以来の水準を回復した。前週に3.8%高と大幅に4週続伸したVN指数は先高観を背景に週前半の8-9日に続伸。10-11日は利益確定売りに押されたが、12日は証券株や鉄鋼株が買われ、反発した。指数は1262.33ポイントで週の取引を終了。終値で6月10日以来の水準を回復した。個別銘柄ではエネルギーのペトロベトナム・ガスが4.5%、金融のHDバンクが2.8%、鉄鋼のホア・ファット・グループが2.8%、食品加工のマサン・グループが2.6%上昇した一方、金融のベトインバンクが1.2%、不動産のビンホームズが1.0%、食品加工のベトナム・デアリー・プロダクツが1.0%下落した。今週は高値もみ合いか。

▼指数チャート





【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.6%高、米 CPI の上昇率鈍化を好感

ジャカルタ総合指数は週間で 0.6%高と 4 週続伸。米国の大幅利上げ観測の後退が好感された。週初の 8 日は、前週末の NY ダウが反発した流れを引き継ぎ 6 営業日続伸。9 日には終値で 2 カ月ぶりに 7100 ポイント台に乗せたが、10 日は資源株が指数下落を主導し、8 日ぶりに反落した。ただ、11 日は前日に発表された 7 月の米 CPI が市場予想から下振れし、新興国からの資金流出圧力が低下した効果で、指数は前日比 1.0%高と反発。12 日は終始 7100 ポイント台の高値圏で推移したが、終値では反落して引けた。今週は 15 日発表の 7 月の貿易統計に対する市場の反応が焦点。17 日は独立記念日のため休場となる。

▼指数チャート

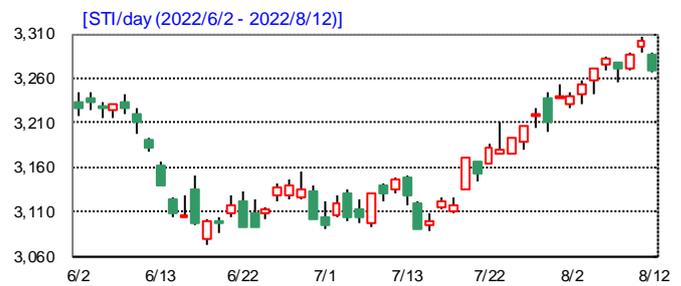


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 0.4%安、米国の積極的な金融引き締め継続を警戒

スレーツタイムズ指数は 4 日間の取引で 0.4%安と 4 週ぶりに反落。週末の下落が響いた。週初の 8 日は、前週末に発表された 7 月の米雇用統計で非農業部門の雇用者数が市場予想を大幅に上回り、景気後退懸念が和らいだことを受けて、9 月の FOMC で 3 会合連続の 0.75%の利上げが実施されるとの見方が広がり、指数は 6 営業日ぶりに反落。一方、祝日を挟んだ 10 日に買い戻されると、11 日には終値で約 3 カ月ぶりに 3300 ポイント台を回復した。ただ、12 日は米国の大幅利上げ継続に対する警戒感が再び強まった影響で、前日比 1.0%安と反落している。今週は 17 日に 7 月の非石油地場輸出が発表される予定。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.3%高、今週は 4-6 月期の GDP が焦点

SET 指数は 4 日間の取引で 1.3%高と 4 週続伸。1 週間を通じて終値で 1600 ポイント台を維持した。週初の 8 日は、銀行株とエネルギー株が買われて 4 営業日続伸。9 日は 4-6 月期の純利益が前年同期比 10 倍超に急増した石油精製大手タイオイルが指数上昇をけん引した。一方、10 日は中央銀行が定例の金融政策決定会合で市場予想通り 0.25%の利上げを決定し、国内経済が年末までにコロナ前の水準に回復するとの見方を示したものの買い材料視されず、指数は小幅反落。ただ、11 日は 7 月の消費者信頼感指数の上昇が好感され、反発して連休前の取引を終えた。今週は 15 日発表の 4-6 月期の GDP が焦点。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.3%高、4-6 月期の GDP は前年同期比 8.9%増

クアラルンプール総合指数は週間で 0.3%高と 4 週続伸。週後半の上昇が奏功した。週初の 8 日は、米国の積極的な利上げに対する警戒感が高まった影響で続落。9 日は 6 月の鉱工業生産が前年同月比 12.1%増と市場予想を上回った効果などで小幅反発したが、10 日は米国の 7 月の CPI 発表を目前に控えた様子見で反落した。11 日は米 CPI 上昇率がガソリン価格の下落を受けて前年同月比 8.5%に鈍化したことが好感され、終値で 4 日ぶりに 1500 ポイントを回復。12 日は 4-6 月期の GDP が前年同期比 8.9%増と予想から上振れし、小幅続伸して取引を終えた。今週は 19 日に 7 月の貿易統計が発表される予定。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。